

平成21年10月期 第1四半期決算短信

平成21年3月11日

上場会社名 株式会社 トップカルチャー
 コード番号 7640 URL <http://www.topculture.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 清水 秀雄
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長兼総務部長 (氏名) 宮原 務
 四半期報告書提出予定日 平成21年3月16日

上場取引所 東

TEL 025-232-0008

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年10月期第1四半期の連結業績(平成20年11月1日～平成21年1月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|--------------|-------|-----|------|-------|------|-------|--------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 21年10月期第1四半期 | 8,126 | — | 290 | — | 314 | — | 172 | — |
| 20年10月期第1四半期 | 7,915 | 2.8 | 261 | △39.7 | 261 | △40.8 | 153 | △39.0 |

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|--------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 21年10月期第1四半期 | 14.38 | 14.33 |
| 20年10月期第1四半期 | 12.28 | 12.25 |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | | 純資産 | | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|--------------|--------|-------|-------|------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 21年10月期第1四半期 | 18,456 | 6,990 | 6,990 | 37.6 | 37.6 | 578.12 |
| 20年10月期 | 17,015 | 6,983 | 6,983 | 40.8 | 40.8 | 577.95 |

(参考) 自己資本 21年10月期第1四半期 6,935百万円 20年10月期 6,933百万円

2. 配当の状況

| (基準日) | 1株当たり配当金 | | | | |
|-------------|----------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 年間 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 20年10月期 | — | — | — | 15.00 | 15.00 |
| 21年10月期 | — | — | — | — | — |
| 21年10月期(予想) | — | — | — | 15.00 | 15.00 |

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年10月期の連結業績予想(平成20年11月1日～平成21年10月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|-------------|--------|-----|------|------|------|------|-------|------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期連結累計期間 | 15,533 | 1.8 | 459 | 23.1 | 482 | 20.1 | 242 | 3.1 | 20.17 |
| 通期 | 30,301 | 2.6 | 778 | 41.5 | 820 | 34.8 | 410 | 18.7 | 34.18 |

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
 新規 — 社(社名)) 除外 — 社(社名))
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)
 ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
 ② ①以外の変更 無
 (注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。
- (4) 発行済株式数(普通株式)
 ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年10月期第1四半期 12,688,000株 20年10月期 12,688,000株
 ② 期末自己株式数 21年10月期第1四半期 690,765株 20年10月期 690,765株
 ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年10月期第1四半期 11,997,235株 20年10月期第1四半期 12,495,900株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成20年12月10日発表の業績予想は、修正していません。本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は今後様々な要因によって予想数値と大きく異なる結果となる可能性があります。
2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

【定性的情報・財務諸表等】

当年度は四半期報告制度の導入初年度であるため、「1. 連結経営成績に関する定性的情報」における前年同期比較分析には、前年同期の参考値を用いています。

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におきましては、景気が急速に悪化し、個人消費がなお一層低迷する厳しい環境となりました。しかし、その一方で休日を家で過ごすライフスタイルの拡がりにより低価格で手軽に楽しめる娯楽への消費が高まっていること、さらには不況下において心の豊かさが求められる時代となりつつあることから、映画、音楽、書籍等といった様々なエンターテインメント・コンテンツを取り扱う「蔦屋書店」への来店頻度や期待も高まっていくものと考えております。

このような状況の中、当社グループは中期目標である「グループ100店舗体制」の早期実現を見据え、店舗営業部門の強化として当第1四半期連結会計期間よりエリアマネージャー制度を導入いたしました。これは、超大型店の店長経験者4名をエリアマネージャーに起用し経営者の視点で個店別にきめ細かく指導を行うものであります。店舗運営力の向上、商品提案力の向上および在庫の適正化等の様々な課題に取り組むことで店長の成長を図ると共に売上と利益の最大化を図ってまいります。また、エリアマネージャーを通じて現場（店舗）の情報をいち早く幹部役員へ集約し経営に反映できるよう、機動性の高い体制作りに取り組んでまいりました。

また、既存店においては蔦屋書店長野川中島店（長野市）の大幅増床（450坪→730坪）を実施し、地域ニーズに合わせた品揃え強化と売場刷新に取り組みました。なお、当第1四半期連結会計期間末のグループ合計店舗は67店舗となりました。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間の業績は、売上高8,126百万円（前年同期比102.7%）、経常利益314百万円（同120.4%）、四半期純利益172百万円（同112.4%）と増収増益となりました。

売上・利益の増減要因

売上面につきましては、当社グループの主軸である蔦屋書店部門において既存店の売上高前年同期比が98.5%とほぼ前年並みを確保したことおよび関東地区における店舗数増加が増収の主な要因となりました。商品別で見ると、書籍およびレンタルの売上伸長が業績に貢献いたしました。書籍は継続して提案性の高い売場作りに注力したことが奏功し、売上高前年同期比105.3%（既存店101.9%）と好調に推移いたしました。レンタルは休日を家で過ごすライフスタイルの増加により、映像レンタルの貸出本数が大幅に増加し、売上高前年同期比107.2%（既存店101.8%）となりました。なお、セルCDはタイトルパワーのある新譜が不足したことにより、売上高前年同期比88.9%（既存店85.6%）となりましたが、当初よりこれを加味した売上計画を立てており、概ね計画通りの進捗となっております。

利益面につきましては、上記のような増収に加え、収益力強化としてレンタルの粗利率改善に取り組んだことが増益の主な要因となりました。具体的には、全店舗の販促施策を見直したことで、売上に応じた仕入となるよう本部にて仕入コントロールを実施したこと並びにオープン後3年を経過した店舗のレンタル初期在庫投資の償却負担分減少したことによりレンタルの粗利率を大幅に改善にしたことが改善に繋がりました。これにより、売上総利益率は31.0%（前年同期比2.0%増）となりました。その結果、経常利益は314百万円（前年同期比120.4%）となりました。

事業の部門別セグメントの状況は、次のとおりであります。

(小売事業)

蔦屋書店部門

当部門につきましては、前述のとおり既存店の売上高がほぼ前年並みであったことおよび関東地区における店舗数増加により、売上高は7,793百万円（前年同期比102.7%）となりました。

古本市場トップブックス部門

当部門につきましては、商品買取強化等に取り組んだ結果、売上高はほぼ前年並みに推移し、298百万円（前年同期比101.1%）となりました。

(スポーツ関連事業)

グランセナフットボールクラブ部門

当部門につきましては、サッカークラブおよびサッカースクールの会員が順調に増加し、売上高は34百万円（前年同期比104.4%）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

総資産につきましては、前連結会計年度末比1,441百万円増加し、18,456百万円となりました。なお、当第1四半期連結会計期間の期末日は金融機関休業日であり、買掛金、未払金および借入金の決済2,014百万円が翌営業日に繰り越されています。これを勘案した総資産は16,442百万円であります。主な要因は、在庫の効率化によるたな卸資産の減少であります。

負債につきましては、長期借入金の返済による減少があったものの、上記要因を受け買掛金が増加したことから、前連結会計年度末比1,434百万円増加し、11,465百万円となりました。

純資産につきましては、前連結会計年度末比6百万円増加し、6,990百万円となりました。この結果、自己資本比率は37.6%となりました。

当第1四半期連結会計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という）の期末残高は、前連結会計年度末に比べ1,505百万円増加し、2,727百万円となりました。なお、当第1四半期連結会計期間の期末日が金融機関休業日であったことによる影響を勘案した現金及び現金同等物の期末残高は、713百万円であります。

各キャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は2,184百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益が314百万円となり、在庫の効率化に伴いたな卸資産が230百万円減少したことおよび当第1四半期連結会計期間の期末日が金融機関休業日であり仕入債務等の決済が翌営業日に繰越となったため、仕入債務の増加額が1,697百万円と大幅に増加したことによるものであります。なお、当第1四半期連結会計期間の期末日が金融機関休業日であったことによる影響を勘案した営業活動による資金の増加は221百万円となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は173百万円となりました。これは主に、敷金・保証金の返還による収入が支払額を58百万円上回った一方、既存店の増床に伴う有形固定資産取得による支出が231百万円発生したことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の減少は505百万円となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出が383百万円、配当金の支払が121百万円発生したことによるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間の業績は、計画通り推移しており平成20年12月10日に公表した第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

1 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

| | 当第1四半期連結会計期間末 (平成21年1月31日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年10月31日) |
|-------------|-------------------------------|---|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 2,737,369 | 1,231,439 |
| 売掛金 | 206,272 | 204,783 |
| 商品 | 6,949,966 | 7,180,420 |
| 貯蔵品 | 71 | 101 |
| 前払費用 | 258,644 | 230,937 |
| 繰延税金資産 | 42,815 | 59,383 |
| 未収入金 | 248,191 | 315,925 |
| 貸倒引当金 | △226 | △217 |
| 流動資産合計 | 10,443,103 | 9,222,773 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 2,434,262 | 2,317,125 |
| その他 | 693,169 | 765,906 |
| 有形固定資産合計 | 3,127,432 | 3,083,032 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 34,598 | 36,615 |
| その他 | 53,309 | 53,630 |
| 無形固定資産合計 | 87,907 | 90,246 |
| 敷金及び保証金 | 3,937,323 | 3,987,823 |
| その他 | 860,628 | 631,448 |
| 投資その他の資産 | 4,797,952 | 4,619,272 |
| 固定資産合計 | 8,013,291 | 7,792,550 |
| 資産合計 | 18,456,395 | 17,015,324 |

(単位：千円)

| | 当第1四半期連結会計期間末 (平成21年1月31日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年10月31日) |
|---------------|-------------------------------|---|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 4,644,801 | 2,947,250 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 1,558,032 | 1,649,830 |
| 未払法人税等 | 135,232 | 120,124 |
| 賞与引当金 | 37,712 | 62,600 |
| 未払金 | 591,742 | 326,226 |
| その他 | 161,602 | 310,071 |
| 流動負債合計 | 7,129,123 | 5,416,103 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 3,922,336 | 4,213,890 |
| 退職給付引当金 | 110,816 | 111,546 |
| 役員退職慰労引当金 | 72,476 | 72,476 |
| 長期未払金 | 56,237 | 55,057 |
| 長期預り敷金保証金 | 174,965 | 162,487 |
| 固定負債合計 | 4,336,831 | 4,615,457 |
| 負債合計 | 11,465,955 | 10,031,561 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 2,007,370 | 2,007,370 |
| 資本剰余金 | 2,303,691 | 2,303,691 |
| 利益剰余金 | 2,920,575 | 2,927,673 |
| 自己株式 | △309,060 | △309,060 |
| 株主資本合計 | 6,922,576 | 6,929,674 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 13,246 | 4,073 |
| 評価・換算差額等合計 | 13,246 | 4,073 |
| 新株予約権 | 30,528 | 28,117 |
| 少数株主持分 | 24,089 | 21,898 |
| 純資産合計 | 6,990,440 | 6,983,762 |
| 負債純資産合計 | 18,456,395 | 17,015,324 |

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 当第1四半期連結累計期間 (自平成20年11月1日 至平成21年1月31日) |
|--------------|--|
| 売上高 | 8,126,525 |
| 売上原価 | 5,608,914 |
| 売上総利益 | 2,517,611 |
| 販売費及び一般管理費 | 2,227,296 |
| 営業利益 | 290,314 |
| 営業外収益 | |
| 受取利息 | 8,146 |
| 受取賃貸料 | 14,173 |
| 保険解約返戻金 | 16,500 |
| その他 | 7,240 |
| 営業外収益合計 | 46,060 |
| 営業外費用 | |
| 支払利息 | 21,561 |
| 営業外費用合計 | 21,561 |
| 経常利益 | 314,812 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 314,812 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 123,480 |
| 法人税等調整額 | 16,607 |
| 法人税等合計 | 140,087 |
| 少数株主利益 | 2,191 |
| 四半期純利益 | 172,533 |

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

| | 当第1四半期連結累計期間 (自平成20年11月1日 至平成21年1月31日) |
|-------------------------|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 314,812 |
| 減価償却費 | 75,960 |
| のれん償却額 | 2,017 |
| 貸倒引当金の増減額(△は減少) | 9 |
| 賞与引当金の増減額(△は減少) | △24,887 |
| 退職給付引当金の増減額(△は減少) | △730 |
| 受取利息及び受取配当金 | △8,371 |
| 支払利息 | 21,561 |
| 売上債権の増減額(△は増加) | △1,489 |
| たな卸資産の増減額(△は増加) | 230,483 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | 1,697,550 |
| 未払消費税等の増減額(△は減少) | 2,157 |
| その他 | △3,871 |
| 小計 | 2,305,202 |
| 利息及び配当金の受取額 | 225 |
| 利息の支払額 | △19,441 |
| 法人税等の支払額 | △101,266 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 2,184,720 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △231,575 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △448 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △209 |
| 敷金及び保証金の回収による収入 | 73,646 |
| 敷金及び保証金の差入による支出 | △15,000 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △173,585 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | |
| 長期借入金の返済による支出 | △383,352 |
| 配当金の支払額 | △121,851 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △505,203 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | 1,505,930 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 1,221,439 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 2,727,369 |

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第1四半期連結会計期間(自 平成20年11月1日 至 平成21年1月31日)

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

当第1四半期連結会計期間(自 平成20年11月1日 至 平成21年1月31日)

全セグメントの売上高の合計、営業利益および全セグメントの資産の金額の合計額に占める「小売事業」の割合がいずれも90%を超えているため、記載を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

当第1四半期連結会計期間(自 平成20年11月1日 至 平成21年1月31日)

本邦以外の国または地域に所在する在外連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

【海外売上高】

当第1四半期連結会計期間(自 平成20年11月1日 至 平成21年1月31日)

海外売上高がないため、該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期連結会計期間(自 平成20年11月1日 至 平成21年1月31日)

該当事項はありません。

「参考」

前年同四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

| 科目 | 前年同四半期 (平成20年10月期 第1四半期) |
|----------------|--------------------------------|
| | 金額(千円) |
| I 売上高 | 7,915,358 |
| II 売上原価 | 5,623,150 |
| 売上総利益 | 2,292,207 |
| III 販売費及び一般管理費 | 2,030,971 |
| 営業利益 | 261,235 |
| IV 営業外収益 | 22,386 |
| 受取利息 | 252 |
| 家賃収入 | 13,162 |
| その他 | 8,971 |
| V 営業外費用 | 22,214 |
| 支払利息 | 21,821 |
| 雑損失 | 393 |
| 経常利益 | 261,407 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 261,407 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 118,351 |
| 少数株主損失 | 10,392 |
| 四半期純利益 | 153,449 |

6. その他の情報

商品別売上状況

| 区 分 | | 前年同四半期 (自 平成19年11月1日 至 平成20年1月31日) | | 当四半期 (自 平成20年11月1日 至 平成21年1月31日) | | 前年同期比 (%) | |
|--------------|----------------------|--|------------|--|------------|--------------|-------|
| | | 売上高 (千円) | 構成比 (%) | 売上高 (千円) | 構成比 (%) | | |
| 小売事業 | 蔦屋書店部門 | 書籍 | 3,014,320 | 38.1 | 3,174,190 | 39.1 | 105.3 |
| | | レンタル | 1,551,422 | 19.6 | 1,663,559 | 20.5 | 107.2 |
| | | 販売用CD | 1,078,853 | 13.6 | 959,217 | 11.8 | 88.9 |
| | | 文具 | 710,803 | 9.0 | 726,382 | 8.9 | 102.2 |
| | | 販売用DVD | 626,264 | 7.9 | 609,896 | 7.5 | 97.4 |
| | | ゲーム | 266,609 | 3.4 | 310,926 | 3.8 | 116.6 |
| | | リサイクル | 55,600 | 0.7 | 57,266 | 0.7 | 103.0 |
| | | その他 | 283,598 | 3.6 | 292,434 | 3.6 | 103.1 |
| | 小計 | 7,587,473 | 95.9 | 7,793,875 | 95.9 | 102.7 | |
| | 古本市場トップブックス部門 | 295,132 | 3.7 | 298,448 | 3.7 | 101.1 | |
| スポーツ 関連事業 | グランセナフットボール クラブ部門 | 32,752 | 0.4 | 34,201 | 0.4 | 104.4 | |
| 合計 | | 7,915,358 | 100.0 | 8,126,525 | 100.0 | 102.7 | |